

チーム学校及び 専門職連携を推進する スクールソーシャルワーカーの質向上 を目指して



地域と歩む：研究紹介

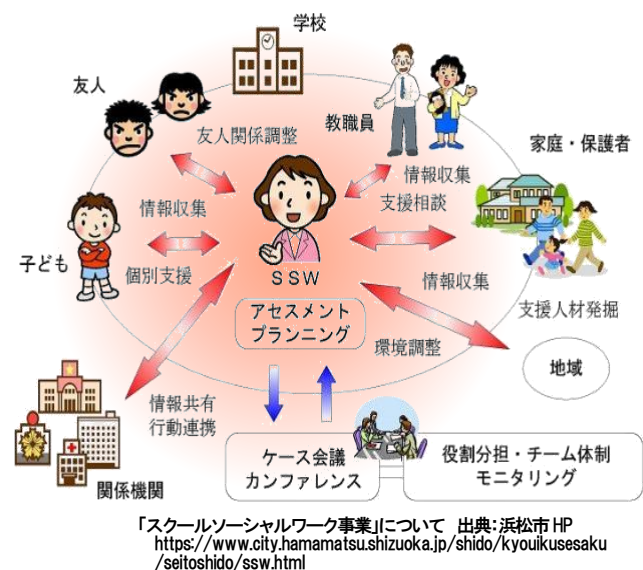
地域連携推進センター
地域連携プロジェクト費
採択事業

- ◆代表者：川向雅弘（社会福祉学研究科長）
- ◆分担者：大場義貴、福田俊子、藤田美枝子（社会福祉学研究科）、佐々木正和（社会福祉学科）
- ◆協力者：平川悦子（浜松市教育委員会指導課スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー）、長坂聖子（浜松市教育委員会指導課スクールソーシャルワーカー）
- ◆課題名：浜松市におけるスクールソーシャルワーカーの基盤強化研修及び講師（教員）の質向上

●● 背景・目的・対象・概要 ●●●●●●●●

2008年に文部科学省のスクールソーシャルワーカー（以下SSW）活用事業が開始。本学では2016年度から社会福祉学科にSSW教育課程を設置した。学校現場においてソーシャルワークが定着し機能するために（基盤強化）、社会福祉学研究科教員が、浜松市内SSW15名を対象に、以下の【研修内容】の通り専門的研修を行った。なお、研修会は新型コロナウイルス感染予防から、Web会議システムZoomにて行った。

また、国内の第一人者をお呼びし、教員側もSSWと共に専門知識の供与を受けるための研修会を行う予定であったが、新型コロナの影響で中止となった。



●● 研修内容 ●●●●●●●●

実施日(曜日)時間	担当	内容	参加者数
11月14日(土)2時間	大場	思春期・青年期の発達障害の心理と社会的課題～2次障害への理解を深めるために～	15人
12月12日(土)2時間	川向	ソーシャルワークにおける連携と協働の課題—コミュニティソーシャルワークの展開を通して考える—	15人
1月23日(土)2時間	佐々木	精神障がい者の地域支援	15人
2月27日(土)3時間	福田・藤田	ワーカーとして育つということ—スーパービジョンの基礎知識と育ちのプロセスの語り—	15人

●● 今後の研修会への要望等 ●●●●●●●●

参加したSSWからは、今後の研修会への要望として、「学齢期における不適応児童等の追跡調査についての事例について」、「ソーシャルアクションの講話」、「福祉、医療、保健、障害、さまざまな分野の講座」、「意見交換がしっかりでき、先が見える将来に生きる研修」、「同じテーマを深めていくような継続的な研修」等があげられた。

なお、当研修会は2021年度(第2年度)も地域連携プロジェクトとして継続する予定である。

